

事業報告

会社名	日本果実工業㈱
代表者名	藤野正義
開発部署名	研究開発課
担当者	片桐且元

(1) 検討会
略

(2) 試作品開発に当たっての調査の実施（ニーズ調査、反応評価等）
略

(3) 調査結果の内容（評価）

1. β -クリプトキサンチン高含有飲料の開発について

当初は4mg程度の摂取での効能が評価されており試作、試飲を実施すると共に開発コンセプト、ロゴ、包材デザインの検討を行ないましたが、その後の研究成果から1mg程度でも同様の効果が確認されミカンジュースに元々1mg%以上の含有が有り、あえて高濃度にする説得力に欠ける状況になった為、開発を中断しております。

2. 新品種柑橘「農6号」商品化の検討について

柑橘センター（周防大島）にて試験栽培木から収穫された約60kgの果実を用いて全農萩工場にてテスト搾汁を依頼し、評価すると共に得られた果汁を小瓶に詰め、従来から取引の有るグリーンコープに試飲評価を御願い致しました。

原料果実100円/Kgを想定し、価格設定300円/300mlでアンケートを実施し、このアンケート結果からジュースの味は評価するものの価格的に150円/300ml以下でないと購入しないとの結果であった。

加工専用種の位置付けから、価格面ではかなり厳しい評価でした。

また、他との差別化で機能性をうたえればそれなりの評価となる事も判ったが機能性をうたえるまでの差別化が出来るかが今後の課題と思えます。

また、差別化の方法として無農薬がうたえないかとのコメントが有りましたが、柑橘試験場の栽培検討結果からは無農薬は困難と判断致しました。

<「農6号ジュース」試飲アンケート実施状況>

1. 実施日：3月15日
2. 場所：グリーンコープ宇部事務所
3. 参集者：グリーンコープ宇部事務所職員他
4. 試飲用サンプル

2月24日全農萩工場にてテスト搾汁していただいた果汁の内、最も香味が優れたテストNo.3の果汁を150mlビンに小分け充填し持ち込んだ。

5. アンケート内容

別紙を使用

6. アンケート結果

別紙添付の通りで、予め柑橘センターで情報を入手しておりました原料果実 100 円/kg を想定し、価格設定 300 円/300ml でアンケートを実施しましたが、アンケート結果からジュースの味は評価するものの価格的には 150 円/300ml 以下でない と購入しないとの結果であった。

加工専用種の位置付けから、価格面ではかなり厳しい評価でした。

また、他との差別化で機能性をうたえればそれなりの評価となる事も判ったが機能性をうたえるまでの差別化が出来るかが今後の課題と思います。

また、差別化の方法として無農薬がうたえないかとのコメントが有りましたが、柑橘センターの栽培検討結果からは無農薬は困難と判断致しました。

以上

(4) 試作品の内容

試作品の 製作時期	試作品の種類	試作品のコンセプト (改良・開発に当たっての新たな視点 等)	備考 (試作品の姿)
22 年 2 月 ～ 22 年 3 月	「農 6 号」搾 汁方法の違い による試飲サ ンプルの作成	1. 搾汁方法の違いによる品質の差 の確認 2. 販売価格と購入意欲の関係調査	

(5) 試作品に係る原料価格、製造原価、小売価格の目標

原料：100 円/k g (加工専用種) 搾汁経費 (量産の場合)：35 円/果汁 k g →果汁価格 285 円/k g 包装資材：26 円/本 充填経費：22 円/本 物流経費：20 円/本 小売販売価格：300 円/本

(6) 原料用果実調達のコエ方 (果実の品質、購入先、生産コスト低減手法、栽培指導内容、価格変動リスクへの対応方法等)

試作品名	原料用果実の品質	調達方法 (生産コスト低減手法等)	備考
農 6 号ジュース	加工用品種としての品質の適正	加工専用種の位置づけの為の栽培委託契約の可能性調査を必要とする。	

(7) ~ (8) 該当なし

(9) 製品化の見込み (販売先、販売方法等)

試作品名	販売先	販売方法	備考
農6ジュース	未定	未定	

(10) 加工品の試作、原料の栽培方法の検討までの検討の経過、各種調査、事業の内容
略